

# 質 問

## ごみ焼却場の修繕内容と 実態把握は

大垣照子 議員

**町長** 修繕計画に基づき、完了検査を  
行い確認している



**問** ごみ焼却場の修繕費用は、平成17年度から28年度で3億9千800万円となっている。修繕内容の実態把握とチェックは、  
**答** 修繕計画に基づき、施設点検報告による機械の経年劣化や運転状況等を考慮し決定する。修繕中の検査と施工、進捗状況、完了検査を実施し確認している。

**問** 修繕後の点検やランク付けは誰が行っているのか。修繕してもすぐに故障が起こる。一度、修繕内容を全く違う業者にやらせることが必要では、火を扱う現場であり、傷んだところから発火することもある。最近もあったのでは。議会には何の報告もないが、議会も約4億円の大きな修繕費を通した責任がある。  
**答** 見回りに引火を発生し、すぐ消火したというところで、町長等には報告したが、議会には大ごとではなく未報告だった。今後は議会にも報告する。  
**問** 大ごとではなかったというが、発見が遅れば全焼だ。このような大事なことを小さな事で済ませていいののか。  
**答** ここは昭和56年に建設し、平成14年度の改良で機器の更新を行ったが劣化が著しい。今年度現状を踏まえ、大規模改修を含めた計画的長期間改修を検討したい。

**問** 担当課長より、多額な修繕費の報告を受けている。  
**答** 多額な費用が掛かっているからダメだと言っているのではない。修繕すべきところがなされていないことが問題だ。担当課がその内容について把握すべき。同じ業者に特定しているが、違う業者との相見積もりや入札にかければ、修繕箇所や費用の違い、一番大切な部分への目のつけ方も変わってくる。どう考えるか。  
**答** 今後は、現場の声をしっかりと聞き、特定業者のみでなく前向きに検討する。



仁多可燃物処理センター

**問** 寮生活をしている横田高校生の休み期間中、部活の対応は。  
**答** 休暇中の閉寮期間が定められており、ホッケー部所属の寮生は夏休み期間中、町内出身部員の保護者宅へのホームステイで対応。来夏は閉寮期間短縮を検討しているとのことだ。  
**問** 部員保護者の善意に頼り、町内部員の家庭を一晩ずつ泊まり歩く、何と可哀想なことを、本人はどれ程気を使ったことか。  
**答** 管轄の県がダメだと言うのなら、町が費用負担し安心して不自由なく部活ができる環境を整えるべき。一方では高校の魅力化や入学の勧誘をし、片方ではこの状況、何をしたいのかと言いたい。  
**答** 高校の魅力化には、1千万円の多額な支援をしている。高校には部活および本業の学業についても強く言っていく。  
**問** 農業者の高齢化により急峻な水田畦畔の草刈りが厳しくなっている。この負担軽減に、畦畔への景観植物「しば桜」の植栽を町挙げて取り組んでは。  
**答** 維持管理が草刈り以上に上がるが、将来の地域農業の持続的発展には、有効かつ社会的な取り組みと判断している。  
今後地域共同活動を逸し、集落協定組織や農地・水・環境保全組織とこの取り組みを検討したい。